



第12回

フィリピン パンダン国際親善交流ツアー

2014年1月11日(土)～1月14日(火) (3泊4日)

フィリピン パナイ島 パンダン町

参加費 12万8千円(会員価格) (未会員の方13万4千円)
(旅費・宿泊費・食費・プログラム費を含む)



企画/問合せ：公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-14 肥後橋官報ビル5F

TEL 06-6444-0587 FAX 06-6444-0581

E-mail asia@jafs.or.jp <http://www.jafs.or.jp>

旅行主催：株式会社トラベルファイブ ジャパン (国土交通大臣登録旅行業 823号)

大阪市中央区博労町3丁目6-7 御堂筋三都ビル

第12回 フィリピン・パンダン国際親善交流ツアー

2014年1月11日(土)~1月14日(火) (3泊4日)

参加費 12万8千円(会員価格)(未会員の方は13万4千円)

(航空券、現地交通費、宿泊費、食費(10回)、プログラム費を含む。
燃油サーチャージ・航空保険料は要別途)



パナイ島パンダン町とは・・・

フィリピンの首都マニラから南へ約 350kmにある人口 26,000 人の沿岸の町です。人びとは協力しあいながら暮らし、主に漁業と農業で生計を立てています。JAFS では、多くの日本の方のご協力の下、1996年から5年間かけて、水道パイプライン建設を完成させました。年々水道の利用者は増え、15,000人を超える町民が飲料水として利用することができています。現在は、水源地マロンパーティの植林活動や、障がい者支援を通じて様々な交流を行っています。

このツアーのポイント

◆水道プロジェクトの見学と記念植樹

上記の水道プロジェクトの様子を見学した後、水源地で環境保全のための植林を行います。マンゴーやピリなどのフィリピンで育つ果樹を植えます。水源地を守るだけでなく、将来にわたり、現地の人々の生活を経済的に支えることにもつながります。

◆障がい者協会のプロジェクトの視察と交流

パンダン住民で障がいをもったメンバー147人が組織したパンダン障がい者協会。経済的社会的自立を目的として、製品づくりや小物販売などのプロジェクトを見学し、交流します。

◆記念碑、町の市場訪問

第二次世界大戦で激戦地区であったパンダン町。今では日本との友好の碑や、両国の慰霊碑が立ち、献花をします。また、町の市場を訪れて暮らしに触れ、美味しい季節の果物を楽しみます。

◆フィリピンで一番美しい島、ボラカイ島での自由遊泳

真っ白な砂浜が続くビーチでの自由遊泳や、シュノーケリング、マリンスポーツなどで楽しめます。

◆マニラの世界遺産を訪問します。

マニラでは、世界遺産に認定されたサン・オーグスティン教会の見学や市内観光も行います。

第12回 フィリピン・パンダン国際親善交流ツアー

【 2014年 1月11日(土)～ 1月14日(火) (3泊4日) 】



日程	地名	内容(宿泊)	イメージ	食事
① 1月11日 (土)	大阪 マニラ	8:00: 関西空港4階 Fカウンター前集合 9:55: 関西空港発 (PR407) 13:20: マニラ空港着 14:30: ホテルチェックイン マニラ観光(サンチアゴ要塞、 サンオグスティン教会(世界遺産)) 18:30 夕食(マニラ湾) (ホテル泊)		朝:× 昼:○ 夕:○
② 1月12日 (日)	マニラ カリボ パンダン町	朝食 6:20: ホテルチェックアウト 8:25: マニラ空港発 (PR 969) 9:25: カリボ空港着 陸路にてパンダン町へ 昼食 午後: 日比記念碑訪問 リサイクル品によるクラフト教室(障がい者協会) マロンパティの水源地散策 植樹活動 夕食 (ビーチコテージ泊)		朝:○ 昼:○ 夕:○
③ 1月13日 (月)	パンダン町 ボラカイ島 パンダン町	朝食 午前: 町の市場見学 パンダン町発 ボラカイ島へ 午後: ボラカイ島着 昼食 ビーチ自由行動・遊泳 夕方: ボラカイ島発 パンダン町へ 交流・夕食 (ビーチコテージ泊)		朝:○ 昼:○ 夕:○
④ 1月14日 (火)	パンダン町 カリボ マニラ 大阪	朝食 7:30: パンダン町発カリボ空港へ 10:05: カリボ空港発 (PR970) 11:05: マニラ空港着 14:40: マニラ空港発 (PR408) 19:20: 関西空港着、着後解散		朝:○ 昼:× 夕:○